

政策 02 豊かな心と知性を育むまちづくり

施策 02 確かな学力を育む教育の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
学習意欲をもって授業を受け、確かな学力が育成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	指導要録の評定で全教科の評定が2以上である児童の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		91.3	91.3	90.5	94	☔ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.8ポイント低下した。苦手教科があるために全教科での評定は2以上にならないものの、その他の教科では学力が定着している児童も一定数いると分析する。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■ (高)

指標	指導要録の評定で全教科の評定が3以上である生徒の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		46.6	46.6	46.1	65	☔ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.5ポイント低下した。苦手教科があるために、全教科での評定は3以上とならないものの、その他の教科では学力が定着している生徒も一定数いると分析する。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■ (中)

指標	学習意欲がある児童の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		94.8	94.8	-	97	(比較不可)
評価	新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休業のため、数値の取得ができなかった。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

指標	学習意欲がある生徒の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		85.3	85.3	-	90	(比較不可)
評価	新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休業のため、数値の取得ができなかった。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学力の定着

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	授業が分かると答える児童の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		93.4	93.4	-	96	
評価	新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休業のため、数値の取得ができなかった。					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業01 学力の定着

指標	授業が分かると答える生徒の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		83.3	83.3	-	85	
評価	新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休業のため、数値の取得ができなかった。					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている児童の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		94.8	94.77	100	100	☀
評価	目標を達成している。これは、小学校1、2年生は少人数学級であるため、全員が全教科を少人数授業を受けており、3～6年生は、算数及び外国語活動の授業で少人数指導を受けていることによる。					(向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)	

基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている生徒の割合 (%) 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		100	100	100	100	☀
評価	目標値を達成している。これは、ALTを配置した中学校全学年の英語及び2年生の数学の授業で、少人数指導を受けていることによる。					(向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)	

基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	特別な支援を必要とする児童生徒に対する補助員等の対応率(%)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活支援員及び介助員を配置して対応していることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 特色ある学校づくりの推進

指標	地域の特性を活かした特色ある学校づくりが実施されている割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、各学校で創意工夫を活かした活動が行われており、特色ある学校づくりが進んでいることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 教職員の資質向上

指標	教職員の研修受講割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、研修対象教職員全員が研修を受講していることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 教職員の資質向上

指標	校内現職研修実施回数(回)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	14.9	14.9	15.2	20	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.3ポイント向上した。これは、研修に参加する教職員の負担等を考慮しながらも次期学習指導要領に対応できるよう、効果的な研修が各校で実施できたことによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						▬▬ (中)

基本事業04 教職員の資質向上

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	研修効果があったと感じる教職員の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	93.2	-	96.3	95	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、平成29年度までの全教職員を対象とした一般研修から各学校で実施する授業力向上研修に指標を変更したことにより、各学校において、より効果が見込まれる内容の研修が実施できたことによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	大規模改修工事を完了した学校数の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	33	33	33	50	☁ (横ばい)
評価	大規模改造等整備方針に基づき、2か年で1校を完了することや、同年度に2校を実施する計画としている。現状、1年に1校の進捗で工事（1期工事または、2期工事として）を進めているが、当初の計画との差が生じてきている。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■ (中)

基本事業05 教育環境の整備

指標	施設維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（R元）は横ばいであった。これは、施設修繕及び保守を実施することで、適切な施設維持管理に努め、教育支障件数が無かったことが要因として考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	通学路上の危険箇所に対する要望への対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育行政課】	79.5	79.5	81.8	86	☀ (向上)
評価	前年度の実績値比べ、現状値が2.3ポイント向上した。これは、通学路上の危険箇所に対する要望の中には、道路状況等の要因により対応が難しい箇所があるため対応が難しい側面もあるが、児童生徒の安全確保のため、代替案で対応したことなどが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■ (高)